

市川総合病院耳鼻咽喉科

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

- 教授 飯村 慈朗
- ①歯性上顎洞炎に対する治療方針についての検討
 - ②鼻中隔外鼻形成術における治療成績の検討
 - ③好酸球性副鼻腔炎に対する治療方針についての検討
 - ④鼻副鼻腔腫瘍に対する手術的治療の検討
 - ⑤アコースティックライノメトリーの基準値作成にむけての検討
- 助教 田中 大貴
- ①嗅覚障害と亜鉛欠乏症の関係についての検討
 - ②嗅覚障害に対する嗅覚トレーニングについての検討
 - ③嗅覚センサ開発に向けた鼻腔内気流の理解と最適化指針の探索
 - ④嗅裂炎に関する病態の解明
- レジデント 木村 優里
- 浦島 瑠美子

2. 成果の概要

1) 飯村 慈朗の成果

- ①に関しては、日耳鼻千葉県地方部会で講演し、私の治療（2019-2020 年度版）に掲載した。現在も当院歯科・口腔外科と合同で歯性上顎洞炎に対する前向き研究を遂行中である。
- ②に関しては、日本耳鼻咽喉科学会等で講演し、Auris Nasus Larynx や耳鼻咽喉科・頭頸部外科などに掲載した。
- ③に関しては、日本鼻科学会誌に掲載した。
- ④に関しては、日耳鼻千葉県地方部会で講演し、頭頸部外科、耳鼻咽喉科展望に掲載した。
- ⑤に関しては、日本鼻科学会の鼻腔通気度委員会に所属し、アコースティックライノメトリーの日本人における基準値作成を行っている。

2) 田中 大貴の成果

- ①に関しては、血清亜鉛値と嗅覚障害の重症度の相関に関するケースコントロール研究の結果を2022年の日本鼻科学会総会・学術講演会で講演し、その後 European Archives of Oto-Rhino-Laryngology に掲載した。また、血清亜鉛値と嗅覚障害の治療効果に関する後ろ向きコホート研究を行い、2023年の日本鼻科学会総会・学術講演会で講演予定である。現在は血清亜鉛値と嗅覚障害に関する介入研究を行うため、準備を進めている。
- ②に関しては、日本鼻科学会の嗅覚刺激療法委員会に所属し、高知大学を中心とした多施設共同研究に関わっている。現在症例登録は終了しており、今後日本鼻科学会総会・学術講演会で講演される予定である。
- ③に関しては、NIMS（国立研究開発法人 物質・材料研究機構）と協力し、嗅覚センサと副鼻腔 3Dモデルを用いた研究を行っている。

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
飯村 慈朗	日本人におけるアコースティックライノメトリーの基準値作成のための研究	鳥取大学医学部	鳥取県	竹内 裕美
田中 大貴	日本人向け嗅覚刺激療法（嗅覚トレーニング）の確立のための比較検討	高知大学医学部	高知県	奥谷 文乃

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
田中 大貴	嗅覚センサ開発に向けた鼻腔内気流の理解と最適化指針の探索	NIMS（国立研究開発法人 物質・材料研究機構）	茨城県	柴 弘太

4 研究活動の特記すべき事項

学会・研究会の主催

主催者名	開催年月日	学会・研究会名	会場	開催地
飯村 慈朗	2023/1/25	コルザ会	市川グランドホテル	千葉県

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
飯村 慈朗	2022/10/14	Septoplasty の適応基準	第61回日本鼻科学会総会・学術講演会	石川県

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
飯村 慈朗	2022/4/16	鼻中隔手術の変遷	三土会	東京都
飯村 慈朗	2023/1/12	鼻中隔前弯矯正術・鼻中隔外鼻形成術	第204回御茶ノ水耳鼻咽喉・頭頸科治療研究会	東京都
飯村 慈朗	2023/1/26	アレルギー性鼻炎の話題	第6回葛南地区花粉症勉強会	千葉県
飯村 慈朗	2023/2/9	鼻閉にまつわる問題	Allergic Night 18 th	東京都